

学校概要

創立 124 周年	学校長 岡田 克己	副校長 飯塚 保夫	学期 2 学期制	児童・生徒数 639 人
学級数 一般級: 19 個別支援級: 3			主な関係校: 新田中学校、新羽中学校、早淵中学校	

学校教育目標

- 互いを思いやり、認め合い、自分の生き方を創り出すことができるようにします ■■■
- 基礎的、基本的な力が十分身に付く子どもを育てます。(知)
  - 自分や仲間の良さを見つけ豊かな関わり合いをもてる子どもを育てます。(徳)
  - 自分や仲間の生命と身体を大切にする子どもを育てます。(体)
  - 地域に住む一人として共に歩むことができる子どもを育てます。(公)
  - 社会へ目を向け、これからの課題を考えることができる子どもを育てます。(開)

学校の特色

□創立124年目を迎えた歴史のある学校で、南東部を流れる鶴見川に沿った住宅・商業地、北西部の田畑の多い谷戸と雑木林の多く残る丘陵からなる広い学区域を持っている。敷地内に竹林があり、生活科などで活用できる。  
 □保護者・地域は協力的な方が多く、学校の取組に対しても理解を示してくれている。  
 □子どもに寄り添って指導したり考えたりする、「子ども中心主義」な教職員が多い。本気でほめ、叱ることができる。  
 ■子どもたちは学習に対してやる気と自信がやや希薄であり、学び方や表現の仕方などは教える必要がある。  
 ■しなくてもいい喧嘩や怪我などが比較的好くある。「気づき」と「想像力」を駆使して減らすべき課題である。

学校経営中期取組目標

- 『あかるい学校』『たのしい授業』その基盤としての『安全・安心な毎日』
- ◆自他のよさに気づき認め合いながら、よりよい自分づくり・豊かな人間関係を目指す子どもたちを育てます。【あかるい学校】
- ◆アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ学びがいがあり「考える力」を育む授業を通して、意欲や自信のある子を育てます。【たのしい授業】
- ◆安全教育を充実させ、危機予防意識をもち自らの安全を自分で守ろうとする子を育てます。【安全・安心な毎日】
- ◆「まち」の人・物・事と豊かにかかわり、「まち」を愛し地域の期待に応える子を育てます。
- ◎謙虚に学ぶ教職員、子どもとともに歩む教職員をさらに増やしていきます。

小中一貫教育の取組

新田中	ブロック	新田中学校、綱島小学校、新吉田小学校、新吉田第二小学校
9年間で育てる子ども像	9年間の連続性のある学習意欲、児童生徒指導を基盤にし『「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子』の育成を目指します。	
自校の具体的取組	○すべての学校において授業公開を実施し、相互理解・研修を深める。 ○小中合同で児童・生徒指導、危機管理対応研修を実施し、スキルアップを図る。 ○小中のなめらかな連結に向け、児童支援・生徒指導専任、教務主任間で充実した情報交換・共有を図る。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 担当 教育活動チーム	■学びがいのある〈たのしい授業〉 ■〈意欲〉〈自信〉を育てる授業 ■指導と評価の一体化	①「進んで学ぶ」「友だちと協力して学ぶ」「自分らしく表現する」ことを目指し、アクティブ・ラーニングを取り入れて、授業改善を図る。②子どもたちの思いや願いを生かして、〈意欲〉と〈自信〉を育む学びがいのある授業を通して、学び続ける子を育てる。③子どもたちの学習状況を適切に見取り、個に応じた指導に生かしていく。
豊かな心 担当 児童指導チーム	■自他を大切にする心情態度を育てる ■YPアセスメントシートの活用と支援の検討を行い、一人一人の子ども的心情をきめ細かく理解する	①道徳の時間、各教科等、さまざまな教育活動において、自分自身に自信をもち、他を尊重し大切にできる心情や態度を育てる。 ②YPアセスメントシートの活用と支援の検討を行い、一人ひとりの子どもたちの心情理解に努め、共感的に接し「よさ」を伸ばしていく。
健やかな体 担当 健康安全チーム	■心と体を一体としてとらえ、運動に親しむ資質や能力の育成 ■外遊びを推奨し、休み時間に子どもであふれるがいっぱいの校庭の実現	①心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解し実践していくよう支援する。 ②日常的に運動に親しめるような資質や能力を育てていく。 ③外遊びを推奨し、休み時間に子どもがいっぱいの校庭を実現していく。
児童指導 担当 児童指導・人権・道徳	■子どもたちのよりよい生き方を支援→個に応じた指導、納得のいく支援 ■「児童支援専任」に情報を集約し、チームで全校的な立場からの対策	①スタンダードを基に子どもたちのよりよい生き方を指導していく。また、学年で子どもの問題や課題に対応し、個に応じたぶれない指導、納得のいく支援を心がけていく。②「児童支援専任」に情報を集約し、全校的な立場から対策を立てていく。③子どもたちを共感的にとらえ、よさを伸ばす指導・支援を心掛ける。
安全管理 担当 防災安全・環境・保健	■実態や要請に応じて訓練を工夫・確実な安全点検と保全 ■危機管理能力・危険予知力の充実 ■判断できる職員や子どもを育成	①実態や要請に応じて、防犯・防災の対策が取れるよう訓練を工夫する。 ②「安全の日」を設定し、施設面の点検・安全教育を行うようにする。 ③危機管理能力の充実を図り、非常時に自分が何をすべきか判断できる職員や子どもを育成する。
地域連携 担当 教務・主幹	■学校の教育活動に協力が得られるように《よいこと情報》を進んで発信 ■地域行事にも積極的に参加	①中期学校経営方針を説明し、学校の教育活動に理解が深まり協力が得られるようにする。また、家庭に向けて《よいこと情報》の発信を心がける。 ②地域行事にも積極的に参加し、子どもたちの地域での様子をとりえるようにする。その場でも学校の取組への理解を得るように努める。
人材育成・組織運営 担当 教務・学年・重点研	■現状に甘んじることなく、進んで新しいことに取り組む。知っていることは進んで教え分らないことは進んで学ぶ。謙虚な姿勢で取り組む組織を目指す。	①組織的に授業力、教師力を高めるよう重点研・児童指導の体制を構築していく。 ②学年研究会の充実を図り「授業」と「児童指導」について学年共同歩調で指導する。&学級・学年のことも学年・学校全体で考え、全校的な視野から指導を考えていく。 ③児童支援専任を中心に子どもたちの情報を共有し、常に複数の目で指導する。